

利賀っ子だより



R4. 5. 6

○ 地域の一員としての子供たち～春祭り～

5月3日から5日にかけて、利賀地域の各地区で春祭りがありました。今年は山村留学生もそれぞれのホームステイ先の地区で、祭りの練習から当日まで参加させていただけることになり、ほとんどの子供たちが、地域の一員として祭礼での獅子舞で太鼓、笛、獅子とり、旗持ち、道具持ち等の役割を担うことになりました。



4月からの朝の会のスピーチで獅子舞の練習に関わる話題が出るのが度々あり、子供たちの生活の中に春祭りが大きく位置づいていることが感じられました。各地区の練習場では、家族以外の大人との関わりがあり、しきたりや礼儀、年長者を敬う姿勢等、獅子舞に関すること以外にたくさんのことを学んでいることが子供たちの話から伺えました。

祭り当日、装束に身を包み、地域の方々が見守る中、真剣に獅子舞に臨む子供たちの姿は凛としており、自分の役割を果たそうとする気持ちがにじみ出ていました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの春祭りの開催ということで、「元気だった?」「しばらく見ないうちに大きくなったね。」など、この機会に帰省し久しぶりの再会を喜ぶ人々の会話や笑顔があちこちで見られ、祭りは、五穀豊穡や無病息災を祈るだけでなく、地域の人々の絆を深める大切な場であることも感じ取ったのではないかと思います。

地域の大切な一員である子供たちのよりよい成長のために、「チーム利賀」でより一層の努力をしようと強く感じた春祭りでした。



(高田 公美)